

| 【ご意見】 | 【案】 |
|---|--|
| アパート・マンションのプラスチック資源の分別排出率の向上策について。 | P15 アパート・マンションのごみの組成 P33 分別排出の徹底 |
| 事業系について、産廃の混入率が高く、さらなる適正処理ルートへの誘導の手法として、具体的に何を考えているか。 | P19 今後の方向性 P28 事業者への普及啓発 P34 事業系ごみの減量の推進 |
| データに基づいた政策の検討、立案、効果分析が重要であり、より精度の高いデータにより、現状を正しく理解していくことが大事である。 排出量削減には行動変容が重要であるが、行動変容に結びつけるのには時間が必要となる。早めの分析、評価をしていくという姿勢が大事である。 | P51 計画の進行管理 |
| 万博以後、外国人がさらに増えるということなどを見込んだ目標設定をされないのか。 | P23 計画量 |

前回の審議会でのご意見の反映状況

| 【ご意見】 | 【案】 |
|---|-----------------------------------|
| 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを、キーワードとして盛り込むことはどうか。 | P1 計画策定の趣旨 P2 計画の位置付け |
| 質の高い資源循環について、従来施策の延長線上にあるように見える。例えばアップサイクルなど検討するはどうか。 | P27 ファッションロス P33 アップサイクル |
| 資源循環に向けて、どれくらい汚れてたら燃やす、どれくらいだったらリサイクルできるという基準の啓発が有効である。 | P33 分別排出の徹底 P35 リサイクルルートへの誘導 |
| 府内の連携は大事であり、政策効果を高めるという観点で連携してもらいたい。 | P31 大阪市役所における3Rの推進 P62 計画の推進体制 |